

★ 丹後地域：チャのチャノコカクモンハマキに注意★

丹後地域でのフェロモントラップの誘殺数が平年より多くなっています。

多発するおそれがありますので、適期の防除を徹底してください。



チャノコカクモンハマキ：成虫



綴られた被害葉



幼虫

発生状況等

府内に設置しているフェロモントラップにおけるチャノコカクモンハマキ雄成虫の誘殺数は京丹後市で平年比多い（表1, 図1）。

表1：令和6年度チャノコカクモンハマキフェロモントラップ誘殺数

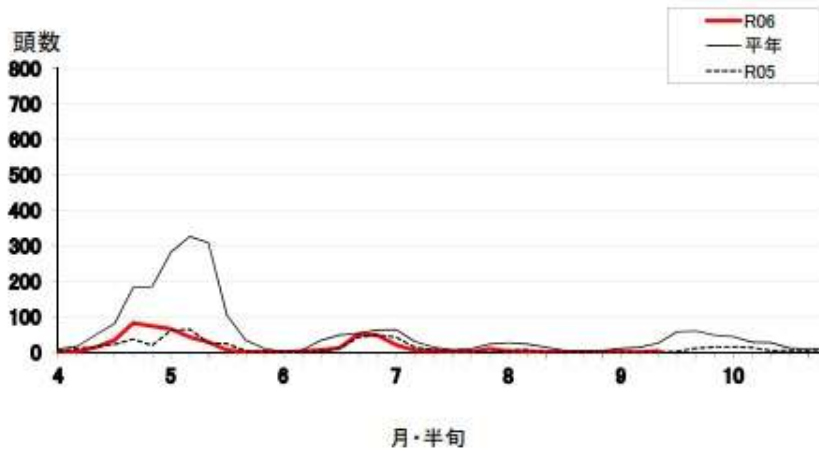
場所	項目	本年	平年値
宇治市		6.2	64.0
綾部市	誘殺数（頭）	109.0	312.7
京丹後市		111.5	12.8

※誘殺数（頭）：8月第4半旬～9月第3半旬計

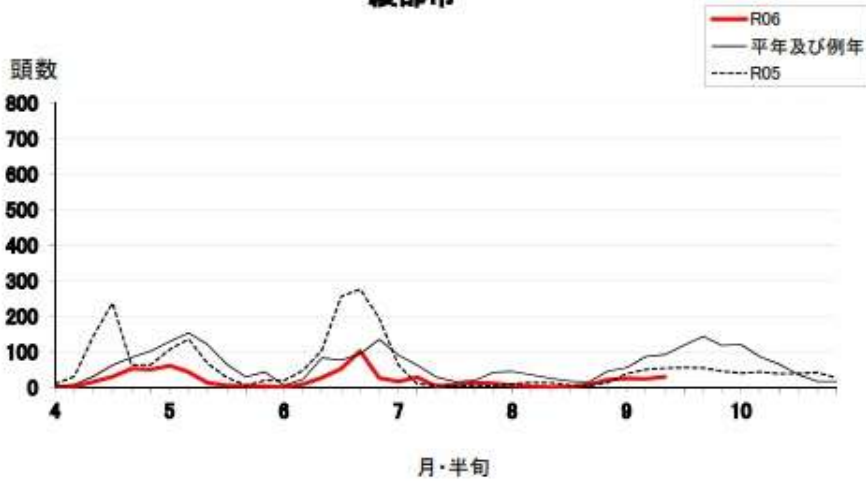
防除上の注意事項

- (1) 幼虫が、綴った葉の中で越冬して翌春の発生源となる。
- (2) 幼虫は葉を綴って食害するようになるため薬剤がかかりにくいので、ふ化直後の若齢幼虫期が防除適期となる。
* 丹後地域の幼虫の予想発生時期
10月の第1半旬～第2半旬（10月1日～10日）
- (3) ジアミド系及び IGR 剤などの薬剤の効果が低下している地域があるので、これらの薬剤の効果が低いと感じられる場合は、同系統薬剤の連用を避ける。

宇治市



綾部市



※本グラフは最大頭数100のスケールで表示しています

京丹後市大宮町

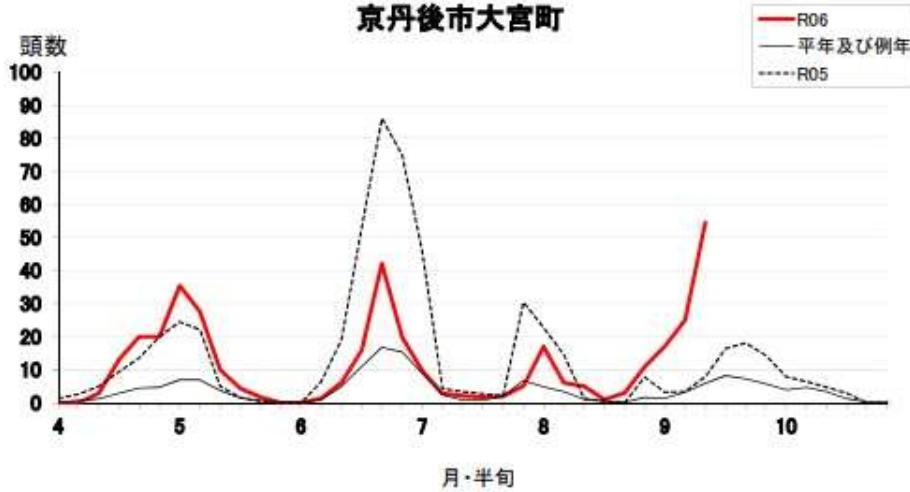


図1 チャノコカクモンハマキのフェロモントラップへの誘殺状況